

地域おこし協力隊のふくしま散歩!

みなさま、いかがお過ごしでしょうか?今回はかがり火コンサートについてお話をさせていただきます。

7月4日(土)に福島大神宮で盛大に開催されました。

私も実行委員の一人として準備から参加させて頂いておりました。

今年で20回目となる節目。「すごい」の一言に尽きます。

こうして町を盛り上げようと町内の有志や周辺地域の企業の方々が一つにまとまり、事を成す姿に感嘆しています。そして、それを20年に渡って継続されていることが素晴らしいと感じています。「この福島町をなんとか盛り上げたい」という気持ちが継続の源になっていることでしょう。

単なるコンサートではなく、そこに郷土芸能の「松前神楽」を盛り込んでいたり、土俵の上で開催するのは「福島町にはこういう素晴らしいものがあるので、内外にもっと知ってもらいたい」という気持ちの表れだと察します。

正しく地域活性化だと思います。今あるものの中で素晴らしいものと、新しいものとを融合させる。

他にも福島町には素晴らしいものがあります。相撲のまち、青函トンネル工事北海道側の基地、マグロ、ウニ、千軒そば、黒米など。これらをもっと引き立てるために、他と差別化を図るために、様々な角度からアプローチしていくべく企画を練っております。それには町民の皆様のご協力が不可欠です。

ご相談させて頂いた際には、是非ともご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



地域おこし協力隊
川端 教文



▲松前神楽の奉納



▲今年のアーティストは、ヒカシュー

7月1日(水)から福島町役場の農林課に地域おこし協力隊として赴任しました野口です。

私は昔から北海道が好きで、趣味の一人旅では今まで10回以上遊びに来ておりました。亜細亜大学を卒業してからパチンコ業界で11年働き、その後は製造業のキャノン・クボタと渡り、そろそろ自然の中で生活したいと思い、地域おこし協力隊に応募させて頂きました。

地域おこし協力隊としてまず、福島町の自然や農産物を外に向けてアピールし、繁忙期には農家さんを手伝いながら自身の技術の習得に努めたいと思っております。

日々の仕事の事やイベントの事などは、ホームページに更新しておりますので、パソコンやスマートフォンをお持ちの方は、福島町観光協会のホームページから、観光担当と農林担当のフェイスブックのページに行けますので是非一度ご覧になって下さい。

最大3年間で地域おこし協力隊の任期が終わりますが、その後は農業での自給自足を目指していこうと思っております。

農業を行うにあたって、やはり雪が降っている間をどうするかが一番考える所ですが、何を作るかはゆっくり考えていこうと思っております。

今、軌道に乗せようとしている農産物(黒米・横綱しいたけ・ブルーベリーなど)のアピールをしつつ、今ある資源を有効活用する案として思いつくのは、福島町は9割以上山林が占めているので、山の湧き水を天然水として売り出す事です。

いろいろ考える事はありますが、今後とも宜しくお願いします。



地域おこし協力隊
野口 和也